

第13回 姫路広陵ライオンズクラブ杯 小学生ソフトボール大会 実施要項

- 1 大会日程 令和3年 12月5日（日） 、12日（日） 予備日 12月19日（日）
- 2 大会会場 大津グランド 姫路市大津区大津町3丁目
広畑第二小学校 姫路市広畑区高浜町3丁目35
ワールド新グランド 姫路市飾磨区英賀甲 1922
※中部衛生センター北側
高浜小学校 姫路市飾磨区阿成鹿古250
- 3 競技規定 日本ソフトボール協会オフィシャルソフトボールに準じ一部追加ルールを採用
- 4 試合方法
 - ① 6年生を含むチームを1部リーグとする
 - ② 5年生以下で編成されたチームを2部リーグとする
※5年生以下で編成されたチームの1部リーグ出場を認める
※6年生女子の2部リーグ出場を認める（人数に制限は設けない）
※チーム事情に応じて、6年生男子少数名の2部出場を認める場合がある。（大会本部と要相談）
 - ③ 少人数チーム同士の合同出場を認める
 - ④ 選手の1部リーグ、2部リーグの重複登録は認めない
 - ⑤ 1部、2部ともに、予選リーグ+決勝トーナメント方式とする。
 - ⑥ **予選リーグは1試合55分7回とする。**
決勝トーナメントは1試合60分7回とする。
 - ⑦ 予選リーグは7回終了時または55分を終了した時点で同点の場合は引き分けとする ※大会規定補足を参照のこと
 - ⑧ 決勝トーナメントは（決勝戦を除き）7回終了時または制限時間を超過した時点で同点の場合はタイブレイク（2回まで）を行う。タイブレイク2回終了時点で同点の場合は抽選を行う。
 - ⑨ 決勝戦については7回終了時または60分を終了した時点で同点の場合はタイブレイク（勝敗が決するまで）を行う。
 - ⑩ 決勝トーナメントは決勝戦を除き5回終了以降7点差の場合は得点差コールドゲームとする。
 - ⑪ その他の特別の事柄については大会本部が決定する
- 5 試合球 ナイガイ 検定ゴム 2号球
 - ・ 試合球は試合都度、各チームから1個を主審に提出する
 - ・ 試合終了後、各チームは試合球を回収すること
- 6 審判 別途定める審判割り当てに基づき各チーム指導者が審判を行う
- 7 参加費 1チーム ￥3,500
 - ・ 各試合会場で受付時に徴収する
- 8 組合抽選 令和3年 11月20日（土） HJSL監督会議にて代理抽選を行う
 - ・ 予選リーグは原則同一地区の集中を避けた配置とする。

- 9 表彰 優勝チームに優勝旗を授与する (持ち回り)
 優勝、準優勝、三位チームにトロフィーを授与する (持ち回り)
 ・優勝チーム並びに準優勝チームに1個/チームの優秀選手メダルを授与する
 ※優秀選手は各チームで選出してください

今回授与する優勝旗並びにトロフィー、メダル、参加賞ボールは
 姫路広陵ライオンズクラブ様から寄贈頂いています

10 開会式

・今大会は開会式を行いません

- ・試合時間、審判時間に間に合うよう会場に来てください
- ・受付は各試合会場で行います
 <受付担当>
 大津グランド ⇒ ハーモニーズ
 広畑第二小学校 ⇒ キッズ広二
 ワールド新グランド ⇒ ワールド
 高浜小学校 ⇒ 高浜パンダーズ
- ・下記チームは受付の際に優勝旗、トロフィーを返却してください

返却物	前年度順位 1部	前年度順位 2部
優勝旗	大津ファイターズ	平北パワーズ
トロフィー	優勝	神飾DREAM
	準優勝	浜の宮レンジャーズ
	三位	高岡ファミリーズ
	三位	野口南少年団ソフトボール
	八幡スーパージュニア	大津ファイターズ Jr

11 閉会式
 (表彰式)

決勝戦終了後、大津グランドで行う

12 その他

- ① 大会当日悪天候時の順延決定は朝6時に行う
- ② 順延決定後、別紙連絡ルートで各チームに連絡する
- ③ その他問い合わせ窓口
 - ・市村 (いちむら) TEL 080-2402-7536

大会規則 詳細

1. 適用規則 : (財)日本ソフトボール協会の定めるルールを基本とし特別規則(ローカルルール)を付加する

2. 特別規則

- 1) 使用球はナイガイソフトボール 検定2号を使用する。
- 2) 予選リーグ試合時間は55分(7回戦)とし、50分を過ぎて新しいイニングには入らない。
 - ・予選リーグにおいて、制限時間の5分前を過ぎている各回裏の攻撃はスリーアウトが成立するまで行う
※但し7回裏を除く
 - 後攻チームがリードしている場合でも1~6回まではスリーアウト成立まで試合を行う(得失点差判断のため)
 - 7回については7回表が終了した時点で後攻チームが得点リードしている場合は試合終了を成立させ7回裏の攻撃を行わない
 - 7回表が終了し先行チームが得点リードしている場合は7回裏のイニングを開始しスリーアウト成立まで行うが、後攻チームが逆転した時点でサヨナラ勝ちとし試合終了する

3) 予選リーグの順位判定は下記の勝ち点制で行う

無失点勝利 → 勝ち点 5
勝利 → 勝ち点 4
引分 → 勝ち点 2
敗退 → 勝ち点 0

※勝ち点が同点の場合は、 優先1 → 少失点 優先2 → 多得点 上記も同じ場合は抽選を行う

4) 決勝トーナメントは以下の通りとする

- | | |
|-------|---------------------------|
| ・1部 → | 各予選ブロックの1位と2位が決勝トーナメントに進む |
| ・2部 → | 各予選ブロックの1位と2位が決勝トーナメントに進む |

- ・決勝トーナメント試合時間は60分(7回戦)とし、55分を過ぎて新しいイニングには入らない。
 - ・60分または7回を過ぎても同点の場合は**タイブレイク**を2回まで行う。
 - ・**タイブレイク**2回を過ぎても同点の場合は抽選とする。(但し決勝戦は勝敗が決するまで行う)
 - ・5回終了時点で7点差の場合、コールドゲームとする。(決勝戦を除く)
- 5) 試合前にメンバー表の交換を行う。(審判にも提出)
 - 6) DP、FP、リエントリーを採用する。
 - 7) 今大会は試合前のフィールディング(ノック)は行わない
 - 8) 1試合における守備側のタイム取得数は3回までとし、4回目は投手交代しなければならない
 - ・但しタイブレークとなった回からは1回につき1回のタイムを認める
 - 9) 攻撃側のタイム取得数は1イニング1回とする
 - 10) ファールライン手前での捕球後、プレーヤーがファールラインを超過した場合、
 - ・打者アウト、ボールデッドとなりツーアウトまではランナーに1つの進塁が与えられる
 - 11) 「故意四球」を採用する
 - 12) ピッチャーのイリガル投球に対して、審判は以下の対応をする
 - <1部の試合>
 - ・即時ボールデッドとしない(即時イリガル投球の処置をしない)
 - ・イリガルとなっていた投球のプレーが完了したタイミングで、審判は守備側チームの監督にイリガル投球であることを警告(説明)し、次の投球から正規の判定を行う旨、伝える。
 - ・最初のイリガル投球で行われたプレー(カウント)はそのまま採用し続行する。
 - <2部の試合>
 - ・即時ボールデッドとしない(当該試合中はイリガルを採用しない)
 - ・試合終了後に、イリガル投球をした投手のチーム監督に、イリガルであることを注意し、監督は責任を持って指導する。

上記は、まだ未熟である小学生選手に配慮した特別ルールです。ご理解とご協力をお願いします

13) 応援の規制について

日ソ協会が推奨する下記のマナーを遵守する。但し違反者への罰則は定めない

- ・投手が投球姿勢（セット）に入ったときは、両チーム（応援者を含む）は、応援のための声出しや鳴り物を使用してはならない。

14) テンポラリーランナーを採用する

＜テンポラリーランナーとは＞

- ・キャッチャーが、塁上の走者となっていて、ツーアウトとなっている場合は、その走者（捕手）の代わりのランナー（テンポラリーランナー）を使用することができる
- ・ツーアウト後であれば、いつの時点でも使用できる
- ・使用するかどうかは、攻撃側チームが選択できる
- ・テンポラリーランナーは、塁上の走者以外の選手で、打順が最後に回ってくる者をテンポラリーランナーとする
このルールは、攻守交代を迅速に行うことを目的としている
テンポラリーランナーを出した場合、キャッチャーは速やかにレガース等の保護具を装着すること

15) 打者は投球間にバッターボックスから両足を出してはいけない

- ・サインの確認や、素振りをするとき、バッターボックス内に片足を置いておくこと
- ・但し、以下の場合を除く
 - ① ワイルドピッチやパスボールがあったとき
 - ② 本塁上でプレーが行われたとき
 - ③ タイムが宣告されたとき
 - ④ 投手がピッチャーズサークルを離れた時、またはキャッチャーが捕手席を離れたとき
- ・国際ルールでは、このルールに違反した時、打者はワンストライクが宣言されるが、HJSLでは、当面はペナルティは設けず、審判からの注意のみとする

16) 試合前の投手の投球練習について

- ・試合の準備段階で、ベンチ前での投球練習を行う際は、バックネット方向に向けて投球練習を行ってはならない
これは、ライン引き等の試合準備者を保護するためのルールとして設定する

17) ネクストバッター（次打者）の待機位置について

- ・次打者はネクストバッターズサークル内で待機しなければならない
・尚、安全面を考慮し、打席にいる打者の背中側（右打者の場合は三塁側、左打者の場合は一塁側）のサークルで待機しなければならない

3. 運営規則

- 1) 閉会式にはチームブラカードを持参する。
- 2) 試合会場の準備は各試合会場を使用するチームが協力して行う。
- 3) 各試合の審判は原則別紙組合せ表に記載の割り当てで行う。（チーム事情で対応できない場合は相互の協力で行う）
- 4) 試合結果（得点及び勝敗）は試合直後に各会場本部にスコアカードで報告する
※大津グラウンド以外の試合会場は管理チームに報告する
- 5) 次の試合に備えるグラウンド整備は前試合のチームが速やかに行う。
- 6) 天候不良の場合の決行 or 順延 or 待機の判断は当日6時00分に行う。
- 7) 表彰は1位、2位、及び3位を表彰し他に優秀選手を表彰する。
- 8) 1部決勝トーナメントにおいて、フェンス越えのホームランを打った選手に「ホームラン賞」を授与する
・当該試合終了後、本部で授与する ※1選手の授与上限は1個とする